



1960年代初頭のレース風景。「世界でもっともチャレンジング」と賞賛されるレイアウトは今とほぼ変わらない



1968年、10時間耐久レースに出場した22歳の菱木氏。並みいる先輩ライダーたちの中で、みるみる頭角を現していた



1969年、10時間耐久レースに出場し、優勝を果たす

## “コカ・コーラ”鈴鹿8耐 第40回記念大会

日程:2017年7月27日(木)~30日(日)

70年代の一時期、オイルショックの影響で中止されていた耐久レースだが、1978(昭和53)年に8時間耐久レースとして復活し、さまざまなドラマを生んだ。今年の鈴鹿8耐は第40回記念大会。7月27日から30日に開催される。



開催日程

7月27日(木)	特別スポーツ走行
28日(金)	公式練習/公式予選
29日(土)	決勝出場チーム フリー走行
	TOP10トライアル(公式予選)
30日(日)	“コカ・コーラ”鈴鹿8耐前夜祭
	“コカ・コーラ”鈴鹿8時間耐久ロードレース 決勝 11:30スタート/19:30ゴール

前売観戦券(3日間有効)  
大人5,700円(モトピアバスポート付、大人観戦券1枚で3歳から高校生までの子ども5名を招待)ほか  
●問い合わせ:鈴鹿サーキット ☎059-378-1111

の鈴鹿8時間耐久レースのルーツとなる鈴鹿18時間耐久レースであった。菱木はまだ高校生だったが、このレースに250ccクラスで出場し、3位に入る成績をたたきだして関係者を驚かせた。レーシングライダーとしてすでに、卓越した技量を示していたのである。

菱木は、翌64年に開催された鈴鹿24時間耐久レースにも出場した。65年には本田技術研究所に正式に入社し、本格的にテストライダーとしての歩みをスタートさせた。荒川河川敷のテストコースでCB450、そしてCB750FORU Rといった名車をテストライディングしながら、レースへの出場も続けた。68年に出場したレースでは、ジュニア251cc以上のクラスで見事チャンピオンに輝く。当時のライセンス区分は、セニア、ジュニア、

そしてアマチュアとなっていた。「セニア50ccの決勝前には、慣れない観客たちがドロドロの靴でコースを横切っしまい、ライダーたち自らコースを掃除していました。それでスタートが、1時間遅れになったんです」

日本のロードレース草創期のそんな出来事が、強く印象に残っているという。

そして同68年、鈴鹿で10時間耐久レースが開催された。菱木氏はこのレースに隅谷守男選手とペアを組み、CB450ベースのマシンで出場。見事優勝したのである。

快挙はそこで終わらなかった。翌69年、そして70年と、やはり隅谷選手とのペアでCB750FORU Rを駆り鈴鹿10時間耐久レースを制したのである。3連覇の偉業はいまも破られていない。



Back to motorcycle life.  
マイク菱木の  
バイクライフ  
vol.3

Scene 3

## 鈴鹿サーキット

太陽のもとの熱き喧噪。  
鈴鹿の“伝説”が生まれた場所



取材・文/栗栖国安  
写真/菱木哲哉、  
株式会社モビリティランド



菱木 哲哉  
ひしき・てつや ●1946年、千葉県生まれ。草創期の鈴鹿耐久レースに出場し、68年にCB450、69・70年にCB750で3連勝を飾る一方、テストドライバーとしてこれらのバイクの開発にも携わった。その後、単身アメリカに渡り「マイク菱木」として活躍。退職後は仲間とともにツーリングを中心にバイクライフを楽しむ。

現在の鈴鹿サーキットのピットロード。  
無数の歴史的バトルを見守ってきた場所だ

「俺はレースをやるところが欲しいんだ。クルマはレースをやらなくて良くなるから」

ホンダの創業者である本田宗一郎氏のこの発言で、国内初となる本格的ロードコースである鈴鹿サーキットの建設がスタートした。

1959(昭和34)年末のことである。62年9月20日に鈴鹿サーキットは完成。日本初の高速道路、名神高速道路の粟東・尼崎間が開通する、およそ1年前のことだった。

鈴鹿サーキット開業の2ヵ月後、記念すべき初レースとして、第1回

全日本選手権ロードレースが開催された。観客数はなんと延べ20万人。目の前を疾走するマシンのスピード、排気音にファンは酔いしれた。日本のモータースポーツの歴史の本格的な幕開けであった。

菱木が初めて鈴鹿サーキットを訪れたのは、オープンした年の11月だった。

「当時高校1年生で、もちろんレース参加ではなく、MFJ(日本モーターサイクリススポーツ協会)関東支部の旗を持って入場する係。田中健二(健二)学校の新人として連れて行かれていかれたんです」

田中健二氏は、日本のモータースポーツの草分けで、1960年代からホンダワークスチームで海外のレースも走っていた人。当時、ホンダの若いライダーたちのコーチ役をとめていた。

菱木がはじめてレースに出場したのは1963(昭和38)年。現在